

会議録様式

審 議 会 名	令和6年度第3回杉戸町総合振興審議会
開 催 日 時	令和6年8月21日（水） 午前10時00分～午前11時30分
開 催 場 所	杉戸町役場第二庁舎第1・第2会議室
会 議 の 議 題	①第6次杉戸町総合振興計画第3次実施計画の事務事業評価の答申について ②第2期杉戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略の事務事業に関する意見書について ③企業版ふるさと応援寄附金の実績報告について ④第6次杉戸町総合振興計画後期基本計画策定に向けたアンケート調査の状況等について
公開・非公開の別	<u>公開</u> ・ 非公開 （公開の場合傍聴者数 2人）
	（非公開の場合理由）
出 席 委 員 氏 名	【出席委員】 木村三樹男、松村美知子、鈴木豊、宮野尾政子、横井正樹、谷藤恵美、水野順子、中里圭介、佐々木誠、菊地信一、青木恵理、新井晃、茂利浩幸、斉藤智章 【欠席委員】 板橋昇
審 議 の 概 要	①及び②について、報告書及び意見書の提出を行った。 ③及び④について審議を行った。 詳細は別紙のとおり。

●答申

①第6次杉戸町総合振興計画第3次実施計画の事務事業評価の答申について

・第6次杉戸町総合振興計画第3次実施計画事務事業評価【外部評価】報告書について、事務局より概要を説明する。

②第2期杉戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略の事務事業に関する意見書について

・第2期杉戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する意見書について、事務局より概要を説明する。

・答申書等を会長から町長へ渡す。

●議事

③企業版ふるさと応援寄附金の実績報告について

資料「企業版ふるさと応援寄附金（企業版ふるさと納税）について」に基づき、令和4年度、令和5年度の実績について報告を行う。

<質疑>

（委員）

資料の2の（1）に企業名、寄附額の公表を望まない企業があるので、合計のみ報告ということだが、この会議に企業名等を出せないのか、それとも公に公表すること望んでいないのか。

（事務局）

企業が寄附をする際に、企業名や寄附額の公表について希望しないを選択している場合、公に公表をすることはできません。

企業名の公表を希望している企業もありますので、公表できる範囲で説明をさせていただきます。

令和４年度で企業名を公表できるのは、前田建設工業、東京都の企業になります。

令和５年度で企業名を公表できるのは、１件目は、株式会社ビジネスランド、東京都の企業になります。２件目は、株式会社柳川合同、福岡県の企業になります。３件目は、伊藤電気株式会社、春日部市の企業になります。３社とも寄附額については、公表を希望しないとなっております。

（委員）

一般に公表した方がよいと思うが、公表しているのか。

（事務局）

町のホームページで公表しております。

（委員）

資料の４の「今後の取り組みについて」で、埼玉りそな銀行と提携している「地域デザインラボさいたま」と契約し、周知を図っていくということだが、例えば本郷にある工業団地の支店や工場の本社へ周知するなど、町からアプローチをしているのか。

（事務局）

パンフレット等を本社へ送付して、周知を図っています。

（委員）

本郷にある工場等への周知はしているのか。

（事務局）

工場へパンフレット等を送付しておりません。

（委員）

今の指摘に関連して、寄附のあった前田建設工業は東京都の企業、株式会社柳川合同は福岡県の企業となっており、これはどのようなことで寄附につながっているのか説

明をお願いしたい。

(事務局)

令和4年6月に株式会社ジチタイアドという会社に企業版ふるさと納税の募集に関する契約を行い、その会社から約2500社の企業へ杉戸町の企業版ふるさと納税に関するパンフレットを送付し、寄附につながったものとなります。

(委員)

株式会社ジチタイアドが送付していない企業は、町の企業版ふるさと納税についてわからないということになりますね。

(事務局)

そうなります。ただ、企業が数多くあるなかで、この2500社に送付したのは、杉戸町に入札等を行うために登録している企業や町内に事業所がある企業などに送付したものであり、杉戸町と全く縁もゆかりもない企業ではなく、杉戸町で事業を行いたいと希望しているような企業へ通知を送付しているところです。

④第6次杉戸町総合振興計画後期基本計画策定に向けたアンケート調査の状況等について

・事務局より、第6次杉戸町総合振興計画後期基本計画の策定に向けたアンケート調査の状況について、説明を行う。

<質疑>

(委員)

このようなアンケートは、各市町村でも実施していると思うが、アンケートの回収率が低い、また若者の回収率が低いと思っています。回収率が低いと、町民参加のまちづくりという観点に影響があると思います。

そこで近隣市町のアンケートの回収率は、どうなっているのか教えていただきたい。また、回収率が低いと町が考える場合、回収率を向上させる施策についての考えをお伺いしたい。

(事務局)

アンケートの回収率についてですが、前提として、アンケートは、各市町村が独自に実施しているものであり、対象者や実施方法が異なる場合もあります。例えば、全体の市民に向けて実施したり、転入してきた人を対象に実施したりするなど、市町村により異なっている状況です。

当町では、町民、子育て世帯、中高生、事業者の4つのアンケートを実施しております。

近隣市町のアンケートの回収率について、取りまとめていないため、詳細は把握していませんが、幸手市の状況ですと、一般市民の方の回収率37.6%とあります。

また、今回のアンケートを作成時に、近隣の状況を確認した際、回収率はおおよそ30%から40%前後の自治体が多かったように記憶しております。

回収率が低いことへの対策としては、自分の住む町で行われていることに対して、関心のない若い世代が多いことを課題に感じており、まず町に関心を持っていただくことが大切であると考えております。

町の取り組みをシティプロモーションという形で情報発信を丁寧にしていく必要があると考えております。

また、アンケートの回収率の低さを補うための一つとして、町民、子育て世帯、中高生、事業者のジャンルごとにワークショップも開催し、御意見を伺う場を設けております。

(委員)

他の自治体との比較については、回収率も重要ですが、アンケートの中身も重要だと思います。今回のアンケート結果で、何か気になった点をいくつか抽出し、他自治体と比較して、杉戸町の課題の特性がどういったものか検討することがよいと考えます。

また、説明で満足度の高さを説明いただいたが、満足度の高いものは問題がないため、満足度が低いところはどこなのか、不満が多いところはどこなのかが、次の施策を打つために重要なポイントになりますので、今後分析を期待したいと思います。

特に、後期計画の中で大事なものは、全般よりも大切なポイントにメリハリをつけるとか、この重点施策を立てるという意味でも、どこに重点を置くべきか、そういう分析をお願いしたいと思います。